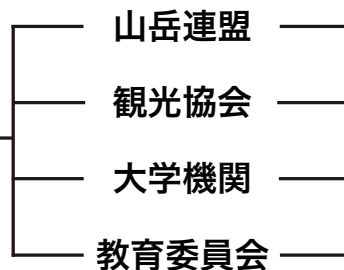


地域連携の組織体制

Organizational Structure for Regional Partnership



ジオサイトの魅力発信実行委員会



特別展・講演会・イベント・調査



地域と共働した博物館創造
活動支援事業 文化庁補助金

梅海新道開通50周年記念 フォッサマグナミュージアム特別展 (2021.7.22-11.30)

Fossa Magna Museum Special Exhibition Celebrating the Tsugami Shindō's 50th Anniversary

メイン会場 (梅海新道)



特別展 HP



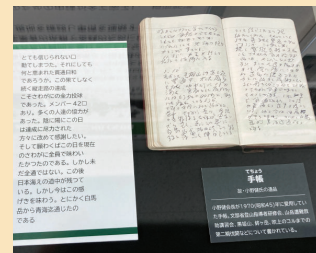
Point ① 大地・自然・人のつながりを伝える！



登山道沿いで見られる
岩石の展示



ライチョウの剥製展示
(市立大町山岳博物館 所蔵)



梅海新道伐開時の手記
当時の様子を鮮明に記録

サブ会場 (糸魚川の山々)



特別展 PV

YouTube(30秒)



Point ② 地域の方が主役に！



オープニングテープカット
中央は地元山岳会の会長



記念講演会 (約 80 人参加)
講師は地元山岳会の会長

Point ③ 体験型の展示に挑戦！



バーチャル登山シアタールーム
180°投影プロジェクター



おうちでバーチャル登山！
360°映像の活用

イベントの開催

Events Held



梅海新道山開き

地元山岳会主催で、多くの子どもたちが参加。糸魚川ジオパークは、モンベルのフレンドジオパーク第1号。山岳雑誌「岳人」の編集者も参加し、活動の様子は同誌8月号に掲載されました。



サマークリーン活動

ジオパークガイドの案内で、梅海新道の起点・親不知のジオツアーに参加しながらクリーン活動もできるイベント。糸魚川ジオパークは、「海と日本 PROJECT」の推進サポーターのため、清掃道具を提供してもらいました。

朝日岳周辺の学術調査

Academic Survey of Mt. Asahi

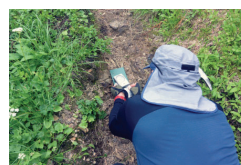


地元山岳会 × ジオパーク × 研究者

安全管理、登山道状況確認

各種申請、魅力の発掘

学術調査、研究



地質調査の様子
古生物・層序・変成岩・構造の専門家が参加



蛇紋岩地帯では高い樹木が育たず、高山植物のお花畑になっている。



調査後の青空議論
山岳会も参加し、貴重な学びの場に。

～地元山岳会の声～

身近な山にまだ知らない魅力が詰まっていることがわかりました。多くの方にこの魅力を楽しんでもらえるよう、登山道整備のモチベーションもより一層高まりました！

この事業は、多くの方の協力で実施することができました。記して感謝申し上げます。事業の一部に、文化庁の令和3年度文化芸術振興費補助金「地域と共働した博物館創造活動支援事業」を使用しました。

＜特別展共催・展示協力・後援者＞

梅海岳友会、市立大町山岳博物館、小野紀子、環境省信託環境事務所、新潟県糸魚川地域振興局、新潟大学理学部、上越教育大学、公益財団法人 日本山岳会、一般財団法人 全国山の協議会、一般社団法人 立山黒部ジオパーク協会、一般社団法人 糸魚川市観光協会、海と日本プロジェクト in 新潟、糸魚川山岳連盟、中部山岳国立公園糸魚川協議会、NHK 新潟放送局、NHK 富山放送局、新潟日報社、株式会社上越タイムス社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、北日本新聞社、信濃毎日新聞社、株式会社山と渓谷社、株式会社モンベル (以上、敬称略・順不同)

＜学術調査参加者＞

松岡 篤・栗原敏之・吉田拓海・鈴木敬介・川口行洋 (新潟大学)、伊藤 剛・中村佳博 (産業技術総合研究所 地質調査総合センター)、齋本修一・丸山 優 (梅海岳友会)、長野隆一 (糸魚川市)、弓矢弘毅・若松洋平 (糸魚川消防本部)、小河原孝彦・香取拓馬 (フォッサマグナミュージアム) ＜協力施設＞ 親不知観光ホテル、朝日小屋、白馬岳蓮華温泉ロッジ